

8月21日 全校登校日の話から

9月1日って何の日？



令和7年8月21日(木)

8月21日の全校朝会で子どもたちに話した内容を少し編集して秋津小防災の日についてお伝えします。
はじめに9月1日は何の日かという話をしました。

9月1日は何の日？

今から102年前 9月1日 11時58分のできごと



関東大震災

M7.9 最大震度7

1

今から102年前の昼12時ごろに関東で大きな地震が起きました。関東大震災です。

最大震度7で

多くの建物がこわれました。

9月1日は何の日？



な
亡くなった人
約10万5000人

習志野市人口の半分以上

げんいん

原因

たてもの

・建物のしたじきになった

かさい

・火災にまきこまれた



2

亡くなった人は10万人を超えます。習志野市の人口が約17万5千人ですから、習志野市の半分以上の数の人がこの地震で命を失いました。

亡くなった人は多くが建物の下敷きになったり、地震の後の火事が原因で命を落としました。

関東大震災の後は焼け野原のようだったそうです。

9月1日は何の日？

ぼうさい

防災の日



さいがい そな いしき たか
災害への備えや意識を高める日

防災週間 8月30日(土)～9月5日(金)

まも
いのちを守るためにできることは？



3

大地震などの大きな災害は止めることができません。
でも、準備をしておけば命を守ることができます。
9月1日は命を守るためにできることを考える、防災の日です。その前後1週間を防災週間としています。

2011年3月11日におきた 東日本大震災では・・・

習志野市でも

しんど きょう
震度 5強

えきじょうか
液状化



どろがもりあがる



どろがわきでる



でんちゅうがかたむく



ブロックべいがたおれる

水道かんがこわれて
給水車からみずをはこぶ



関東大震災の後も日本では大きな地震がたくさん起きています。

皆さんが生まれる少し前に起きた東日本大震災では、習志野市でも震度5強を観測し、多くの被害がありました。

秋津小学校の周りでも「液状化」が起きて道路が盛り上がり、電柱が傾いたり、ブロックの塀が倒れたりしました。水道管が壊れたので、水が出なくなりました。

これはそのときの習志野市の写真です。

いのちを守るためにできることは

そなえる＝じゅんびすること

- ① いのちの守り方を知る
- ② くんれんする
- ③ ものをそろえる

秋津小 防災の日



5

大きな災害はいつ起きるかわかりません。それは今日かもしれません。

今、命を守るためにできることは準備しておくことです。

準備の一つとして、9月5日金曜日に「秋津小防災の日」を実施します。命の守り方を知ったり、訓練したりする日です。

秋津小 防災(ぼうさい)の日

9月5日(金) 校庭 ピロティー 校舎内

なにをやるの？

ぼうさいたいけんがくしゅう
第1部 防災体験学習

ぼうさいきゅうしょく
第2部 防災給食

ひきわたしくんれん
第3部 引き渡し訓練



6

秋津小防災の日は2時間目から午後まで一日かけて行います。

午前中、第1部は防災体験学習です。ここで命の守り方を学びます。

第2部は防災給食を食べます。

第3部は引き渡し訓練です。

第1部 防災体験学習(ぼうさい たいけんがくしゅう) <校庭・ピロティー>



きしんしゃ たいけん



けむり たいけん

学年によって
できるものが
ちがいます



しょきしょうか たいけん



きゅうすい たいけん

7

第1部の防災体験学習では、地震の体験や火事が起きた時の煙や火を消す消火器の体験、給水体験を行います。

第2部 防災体験学習(ぼうさい たいけんがくしゅう)

<校舎内>



はんそうほう たいけん



ロープワーク



しきざい くみたて



あそぼうさい

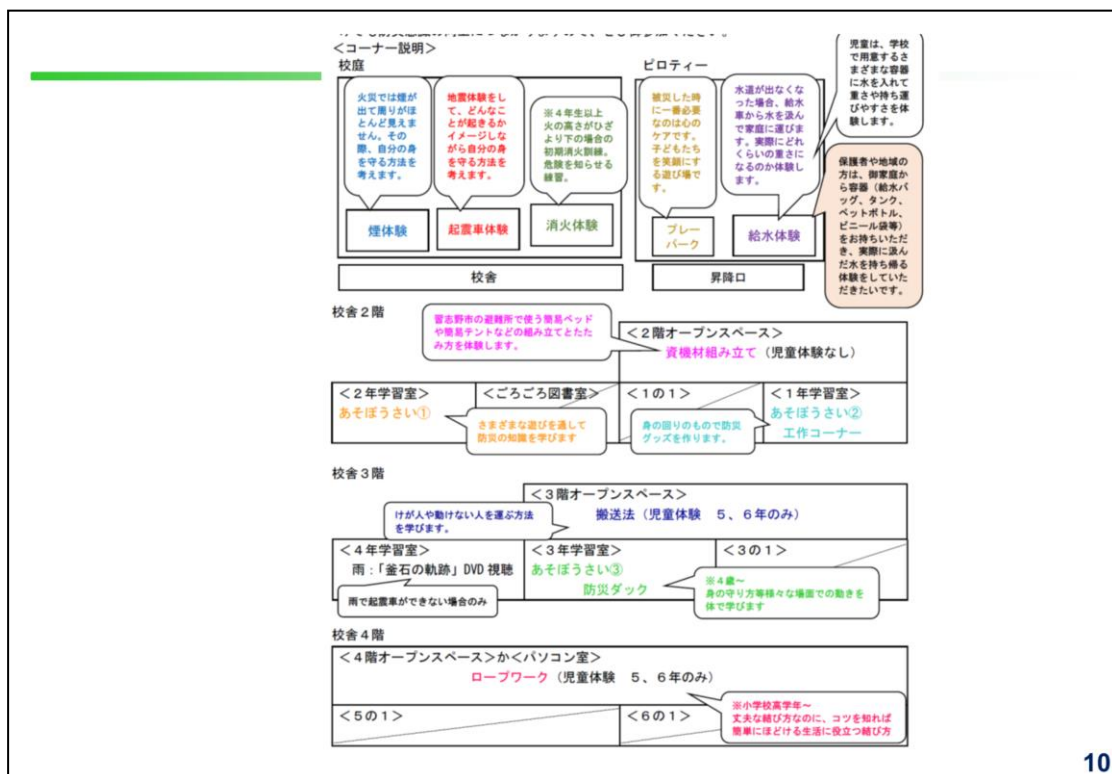
校舎内では、人を運ぶ体験や役に立つロープの結び方体験、工作や体遊びで防災を楽しく学ぶ「あそぼうさい」コーナーなど学年ごとにローテーションで回って体験します。

各学年の動き(防災体験学習)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
9:30～ 9:50	煙体験	あそぼうさい ①	起震車体験	あそぼうさい ②	給水体験	消火体験
9:55～ 10:15	給水体験	あそぼうさい ②	煙体験	あそぼうさい ③	搬送法	起震車体験
10:20～ 10:40	起震車体験	あそぼうさい ③	給水体験	煙体験	消火体験	搬送法
10:45～ 11:05	あそぼうさい ①	起震車体験	あそぼうさい ②	給水体験	煙体験	ロープワーク
11:10～ 11:30	あそぼうさい ②	給水体験	あそぼうさい ③	消火体験	起震車体験	煙体験
11:35～ 11:55	あそぼうさい ③	煙体験	あそぼうさい ①	起震車体験	ロープワーク	給水体験
11:55	教室へ	教室へ	教室へ	教室へ	教室へ	教室へ



各学年の発達段階に合ったコーナーを20分ずつ回
って体験します。



それぞれの体験場所と説明になります。

第2部 防災給食(ぼうさいきゅうしょく)

いざというときに家にあるものでかんたんに
作れるメニューを考えました！

メニュー

炊き出しカレーライス(アルファ化米)
切り干し大根と塩昆布の即席漬け
マシュマロコーンフレーク
牛乳



南方先生の工夫ポイント

- ★カレーは、水の一部をトマトジュースにして作ります。
- ★即席漬けにはツナが入ります。ペットボトルのお茶を使用。
- ★マシュマロコーンフレークはおやつ代わりに。

11

第2部の防災給食は長い間家に置いておける食品を使った献立です。

栄養士の南方先生が災害時は水が出なくなる可能性があるなので、水をたくさん使わない献立を考えてくださいました。

お米は、5年間保存できるアルファ化米を使います。

第3部 引き渡し訓練(ひきわたしくんれん)

震度6強の大地震想定



どんなことがおきる？



12

第3部は引き渡し訓練です。毎年行っていますが、今年度はこれまで以上に本気で行います。

近いうちに來るといわれている、震度6強の大地震を想定して行います。

震度6強といったらどんなことが起きるでしょう。

家が壊れるかもしれません、電柱が倒れるかもしれません、道路が崩れるかもしれません。

この写真は去年1月に起きた能登半島地震です。

第3部 引き渡し訓練(ひきわたしくんれん)



大きな地震
学校ではどんなこと
がおきるだろう？



13

では、学校ではどんなことが起きるでしょう。

教室では机が動き、物が倒れたり落ちたりします。

校舎は震度7でも崩れないように工事されていますからつぶれることはないと思いますが、右の写真のようにガラスが割れたり、一部壊れたりすることはあると思います。図書室も棚は倒れないように備えていますが、本は落ちてくるでしょう。命を守るためにはこれらをイメージして訓練する必要があります。

第3部 引き渡し訓練(ひきわたしくんれん)

今回の訓練では…

ゆくえふめいしや

①行方不明者

②けが人(かるいけが・おもいけが)

こうしや いちぶ

③校舎が一部こわれる

震度5弱以上で行う

④ひきわたし

震度5強以上で開設

⑤ひなんじょ

地域の人が学校に逃げてくる

本当にきたときに 自分のいのちを守れるように
本気のくんれんをします！



14

そこで、今回の訓練では震度6強の地震で起きるであろう状況をつくります。

一つ目は行方不明者がでる

二つ目はけが人がでる

三つ目は校舎が一部壊れる

そして、習志野市では震度5弱以上は引き渡しを行うので、今回も引き渡しを行う。

震度5強以上で避難所が開設されるので地域の人が体育館ににげてくる

を実際にやってみます。

この日はたくさんの方が協力して下さったり、見学にきたりします。また、新聞やテレビなど報道機関も入る予定です。

本当に大きな地震が来た時に自分の命を守れるように全員が本気で訓練に参加してほしいと思います。

【防災の日】いまのうちにしておきましょう

家の中で命が守れるじゅんぴ



たべもの・のみものなどのじゅんぴ

かぞくのはなしあい



命を守るくんれん



15

そして家でも準備をしてください。

家の中でも命が守れるように落ちてくるものや動いてくるもの、倒れてくるものを固定したり、3日分の食べ物や飲み物を準備して置いたり、家族がバラバラの時に大きな地震が来たらどうするか話し合っておいたりしましょう。

そして家でも命を守る訓練をしましょう。

保護者の方へ

保護者の方には第1部「防災体験学習」、第3部「引き渡し訓練」に御参加いただけます。

<第1部「防災体験学習」>

- 児童が優先となりますが、資機材組み立て、初期消火体験、搬送法、ロープワークは児童の体験がない時間がありますので実施可能です。また、児童数によっては起震車体験、煙体験も実施可能です。
- 児童が体験している様子を見ていただだけでも訓練になりますのでぜひ御参加ください。
- ピロティーで行う給水体験は、千葉県企業局に御協力いただけることになりました。東日本大震災でも体験されたことと思いますが、秋津小学校区も大地震の際は液状化します。水道管に異常が出た場合は、給水車から水を運ぶことになります。この機会に御家庭にある給水袋や給水タンクをお持ちいただいて、実際にご自宅まで水を運ぶ体験もしていただけたらと思います。

<第3部「引き渡し訓練」>

実効性のある訓練にするために、実際に災害が起きたことを想定して実施いたします。保護者の方も発災から想定して訓練に御参加ください。可能な限り次の流れで訓練を行っていただき、帰宅後に子どもたちと防災について話し合ってくださいと思います。

保護者の方へのお知らせです。

保護者の方へ

大地震が起きると、すぐにお子様を迎えに出ることは難しい状況となります。
以下の流れを可能な限り実践していただきますようお願いいたします。

①時間予告なし 震度6強の大地震発生

※13時前後に保護者の方も大地震が来たことを想定して身を守ってください。

※大地震発生後、すぐに外に飛び出すのは危険です。

1. 揺れが収まったら足を守るものを履いてから出口を確保します。
2. ラジオやテレビ、携帯等で情報を確認します。(メールや電話が不通になることも考えられます。その場合「震度5弱」以上は引き渡しになります。＜習志野市全校共通＞)
3. 余震に気を付けながら家の中の状況を確認します。
4. 家の外を確認し、異常がなければ在宅避難、家が危険と判断した場合は避難所避難を選択します。

②児童安否確認・校舎の安全確認後 引き渡しメールを各家庭にテトルで配信→受信

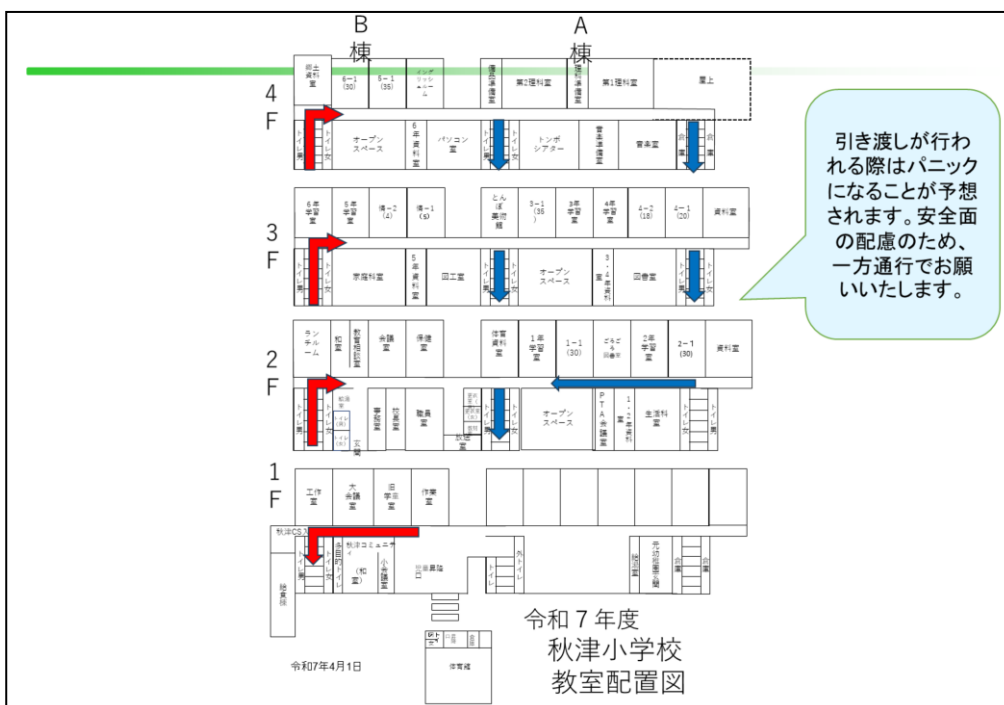
引き渡しに向かうため、留守にする場合はガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とします。

迎えに行く途中で大きな地震が来ることが考えられますので、最低限必要なもの(塩分あめや飲み物等)を持って迎えに行きます。(場合によってはそのまま避難所に残ることも想定しておいてください)

次へ

保護者の方へ

- ③学校に到着したらピロティーの安全な場所(建物や壁から離れた場所)で引き渡し開始の指示を待つ。
- ④引き渡し開始の指示が出たら校舎内に入る。
各学級での引き渡しとなります。上の学年のお子様から引き取りをお願いします。
慌てずに一方通行での階段利用をお願いいたします。(別紙 秋津小学校教室配置図参照)
- ⑤お子様の学級札を先頭に順番に並ぶ。
順番になりましたら、「お子様の名前」「児童との関係」「迎えに来られた方の名前」を担当にお伝えください。担当が児童の名前を呼び、関係者かどうか確認してから引き渡し致します。(担当は、引き渡し児童一覧に引き渡す相手や引き渡し時間等を記入いたします。)
- ⑥引き渡し後はそのまま昇降口から下校するか、避難所である体育館に移動するか選択する。
下校する場合 → 学校から家までの通学路で大地震の際危険な場所や危険なもの、身を守る場所等お子様と確認しながら帰宅してください。
避難所にいる場合 → 体育館が避難所になります。地域の方も避難してくるので、指示に従って体育館にお入りください。
(今回は避難所開設前までの訓練になります。)



一方通行での移動をお願いいたします。

兄弟がある場合は上の学年から引き取りをお願いいたします。

また、当日は夏休み作品展の最終日となっていますが、訓練のため、5日のみ午前9時30分から正午までの参観となりますのでよろしくお願いいたします。

地域の方へ

第1部「防災体験学習」、第3部「避難所開設前訓練」に御参加いただけます。
以下の流れを可能な限り実践していただきますようお願いいたします。

<第1部「防災体験学習」>

- 児童が優先となりますが、資機材組み立て、初期消火体験、搬送法、ロープワークは児童の体験がない時間がありますので実施可能です。また、児童数によっては起震車体験、煙体験も実施可能です。
- 児童が体験している様子を見ていただくだけでも訓練になりますのでぜひ御参加ください。
- ピロティーで行う給水体験は、千葉県企業局に御協力いただけることになりました。
東日本大震災でも体験されたことと思いますが、秋津小学校区も大地震の際は液状化します。水道管に異常が出た場合は、給水車から水を運ぶことになります。この機会に御家庭にある給水袋や給水タンクをお持ちいただいて、実際にご自宅まで水を運ぶ体験もしていただけたらと思います。

<第3部「避難所開設前訓練」>

実効性のある訓練にするために、実際に災害が起きたことを想定して実施いたします。
地域の方も発災から想定して訓練に御参加ください。
可能な限り次の流れで訓練を行っていただき、ご家族と防災について話し合ってくださいと思います。
校舎や体育館の安全が確認できないと体育館に案内することができません。今回は13時前後に発災予定ですので、以下の流れで避難していただくことを考えて、**13時30分以降に避難所に来ていただきますようお願いいたします。**(暑いと思いますので短時間の参加でもよいです)

20

地域の方へのお願いです。

地域の方へ

以下の流れを可能な限り実践していただきますようお願いいたします。

①時間予告なし 震度6強の大地震発生

※13時前後に保護者の方も大地震が来たことを想定して身を守ってください。

※大地震発生後、すぐに外に飛び出すのは危険です。

1. 揺れが収まったら足を守るものを履いてから出口を確保します。
2. ラジオやテレビ、携帯等で情報を確認します。(メールや電話が不通になることも考えられます。)
3. 余震に気を付けながら家の中の状況を確認します。
4. 家の外を確認し、異常がなければ在宅避難、家が危険と判断した場合は避難所避難を選択します。

②避難所への避難を決めたら・・・

避難所(秋津小学校体育館)に向かうため、留守にする場合はガスの元栓を閉め、ブレーカーを落とします。

避難所には、最低限必要なもの(履くものや食料、飲み物、常備薬や必要なもの等)を持って行きます。(3日分あることが望ましいです)5日の訓練の際は、スリッパ等の履くものと水や塩分タブレット等をお持ちください。

③避難所(秋津小学校体育館)では・・・

通常、発災後3時間後に避難所が開設になります(習志野市避難所マニュアル)が、その前に避難が必要になった場合はいったん体育館に入ってください。地域の防災リーダーの指示に従ってください。

さいごに

じぶん

いのち

じぶん

まも

自分の命は自分で守ろう

秋津小防災の日
児童も職員も**本気の訓練**を
します。
御協力をお願いいたします！

